

け來つたが、今や、歸來亦自國に於ける偏狹なる帝國主義者、現實主義者及び深刻なる黨派的嫉妬者と戦はざるを得なかつたのである。併し彼は臆病氣でなかつた。彼は奮然として起つた。而して自らの有する唯一の武器たる辯力を以て大いに是非曲直を國民に問ふ所あらんとした。九月三日、彼が全國遊説の途に就きしは全く之が爲であつた。唯だ之が爲であつた。而も天意計るべからず、彼は今や病魔の襲ふ所となり、病床の人となり去つたのである。彼の感慨悲嘆や、如何ばかりであつたらうか。

然るに、上院は大統領の此災厄にも同情すら寄せざるのみか、却つて機乗ずべしとし眞一文字に其反對の鋒を向けて邁進し來つた。而して其處には既に此鋭鋒に當る殆んど何物もなかつた。此に於て、舞臺は遙かに開展され、歴史は哀調を帯びつゝ、進轉し始めた。即ち十月二

十九日、前記四箇條の留保條件及四箇條の修正條件附條約批准案は主として條約に修正を施す事が非なりとの理由の下に本會議に於て否決の運命に會したが、再び外交委員會に於て審議の上、十一月六日、最後の決定案として十五箇條の留保條件が本會議に提出さるゝ事になつた。此に於て、上院は直ちに同案を、全院委員會に附議し、全院委員會は十八日迄討議を重ねたる結果、終に原案に若干の修正を施して十四箇條の成案を得、之を四十票に對する四十八票にて可決するに至つた。此狀勢を察知したるウィルソンは憂悞の情や堪へざるものありけん十七日、一書を民主黨上院議員ヒチコックに寄せて曰く

民主黨所屬上院議員がロツヂ決議案に關する最終の投票日前、會議を催すべきに付、余に臨席せよとの貴翰は非常に悦ばしく受取られた。余は今詳しく述べる事は躊躇したいが、余の考にては民

主黨上院議員は皆留保問題に就き余の意見を知りたしとの希望を抱き居るものと思はる。故に、余は彼の如き形式に依る決議は事實上該條約の破棄なるを以て該條約の支持者が擧つてロツヂ案に反對されん事を望むと言ひたい。余は其時始めて真正の門戸が開かるゝものと思ふ。

ウイルソンの此書簡はヒチコックに依り議會に於いて朗讀されたが、ロツヂは席上直ちに大統領の此言を評して曰く

上院も條約締結に關しては大統領と同等の權力及責任を有して居る。余の判断に依れば、該條約を米國化し以て米國の安全を保障せんが爲に上院の多數が採用したる留保案を排して該條約に批准せよとの大統領の命令には上院は従はぬであらう。

斯くて、十八日、全院委員會を通過したる留保附條約批准案は愈々同

日本會議に附議さるゝに至つたが、今試みに同案の内容を窺はんには左の如きものがある。

上院議員ロツヂ氏提議十四箇條の留保條件

(「ピリス・オヴ・アドヴォケート」一九一九年十一月號より和譯す)

一、米國は第一條(國際聯盟誓約)を下の如く解釋す。米國が脱退の通告を發する場合、米國が國際聯盟誓約に基く又は基かざる一般國際義務を履行せしや否やは米國に於て之が判定の自由を有すべく、脱退の通告は國會のコンカレント決議に依りて發せらるゝ事あるべし

二、聯盟所屬國たると否とに拘らず他國間の葛藤及他國の領土保全に關しては米國は第十條(國際聯盟)より生ずる何等の義務を負はず、又講和條約の如何なる規定に基くとも、又如何なる目

的を以てするとも、米國が其陸海軍を用ふる事は、其各個の場合に當り、憲法上陸海軍を使役し得る權限を有する國會のコンカレント決議又は立法の手續に依るの場合に限らるべし

三、第二十二條第一項或は他の如何なる規定に基くとも米國は國會の協賛を経るに非ざる限り委任統治を引受けざるべし

四、米國は如何なる問題が内國問題なるやを決定する權限を有し又勞働、移民、關稅、商事、沿海航行、阿片其他危險藥品の輸送等其一部又は全部が内國問題たる問題をも凡て國內法の拘束を受くるものとし、本條約に依る仲裁或は理事會の議題に上程し若くは他國の決裁、勸告に委すべきものに非ずと宣言し得る權利を留保す

五、米國は米國の判斷に依ればモンロー主義に牴觸するものと

解釋さるべき問題は之を講和條約に基ける仲裁又は審問に附議せざるべし。而してモンロー主義の意義如何は米國に依りてのみ解釋さるべきものなるが故に米國は同主義を以て全然聯盟誓約の支配外に在り従つて對獨講和條約の規定に依り寸毫影響を受けざるものと宣言し得べし

六、米國は第一五六條、第一五七條及第一五八條に對する同意を撤回す。而して同規定に基き支那共和國と日本帝國との間に起る事あるやも保すべからざる如何なる葛藤に就きても自由行動を留保す

七、米國は國內法に依り國際聯盟會議及其理事會に出席すべき代表者を任命し得、而して又任意に同聯盟に基く一切の委員會、會議、評議會及法廷等に參加し得る規定を設け且つ其參加代表

者を任命し若くは選擇し得。而して斯かる會場に參加するに必要なる規定の設けられ代表者の權限の明確にさるゝ迄は何人も國際聯盟又は對獨講和會議の規定に基きて米國を代表すべからず又米國を代表すべく任命さるべからず。而して米國市民は上院の許可を得ざる限り斯かる代表者として任命さるべからず

八、米國は賠償委員が米獨貿易を取締り得るは米國の法律又は上下兩院の合同決議に依り認許されたる場合に限るものと了解す

九、國際聯盟の費用或は國際聯盟又は講和條約に基く諸役員、諸委員又は諸會議に要する費用は國會(米國)の承認を経ざる限り米國に於て之を負擔する義務を負はざるべし

一〇、米國は第八條に基く理事會の提議に従ひ軍備制限の計畫を採用すとも若し他國より威壓を受け又は他國と交戦するに至りたる時は何時にても該理事會の同意を経ずして軍備を伸張し得る權利を留保す

一一、米國は其自由裁量に従ひ第十六條に依る破約國々民が米國領土内又は第三國の領土内に居住し米國々民と個人的關係又は通商、金融上の關係を繼續するを許可する權利を留保す

一二、第二九六條、第二九七條及其附則並に本條約の他の如何なる規定も米國民に對しては米國市民の權利を侵蝕せざる限り確認、批准或は承諾されたるものと解すべからず

一三、米國は國會が爾今法律又は合同決議に依り本條約第十三編に基き設けられたる團體に代表者を派遣する事を聲明せざ

る限り、同編第三八七條以下第四二七條に至る規定に對する承認を撤回す。而して若し米國が代表者を派遣する場合、其參加條件は法律又は國會の合同決議に依り支配さるべし

一四、米國は國際聯盟會議及其理事會に於て會員たる一國が其所屬自治領を合して一票以上の投票を爲したる場合は其投票に基く決定、報告等に拘束さるゝ義務を負はず。而して又斯かる會議及理事會が米國と他の聯盟所屬の一國との間に起る紛争に關し決定又は判決を爲すとも若し其決定又は判決にして對手國又は對手國に屬する自治領の參票したるものなる時は米國は之に拘束さるゝ義務を負はず

斯の如き修正案、斯の如き暴慢なる舉措、而も此暴慢さが今や上院に勢威を逞うしつゝあるのである。而して異議熱論の百出を見たる後、

念々採決の結果は左の如くなつて現はれた。

留保附條約批准贊票		共和黨		三四
		民主黨		七
				四...
同 上		反票		
		共和黨		一三
		民主黨		三八
				五一
無條件條約批准贊票		共和黨		一
		民主黨		三七
				三八
同		反票		
		共和黨		四六
		民主黨		七
				五三

斯くて、流石は此留保附條約批准案は否決になつたが、去りとして無條件條約批准案も必要なる票數を收むる事が出来なかつた。此に於てロツヂは決議案を提出し、コンカールメント投票に依り米獨平和關係の

恢復を計らんとしたが、餘時なくして議會は閉會を告げた。十二月一日、上院は再開を見たが、デッドロックは依然として上院を壓して居た。而も平和状態の恢復を計る爲めの合同決議案は十三日再びノックスに依り提出されたが、これ亦所要の賛票を得るに至らなかつた。斯く上院の空氣は陰鬱に陰鬱を重ねて居つたが、此間、ブライアンの如きは頻りに妥協案を得んと腐心する所あり、翌年一月八日、ジャクソン記念日に於ける民主黨大會の到るを待ち構へて居つた。待ち詫びられ居たる一月八日は迎へられたが、不幸、ウイルソンは尙ほ病弱の爲出席不能であつた。併し、彼は此大會に意見書を送る所あつた。其文に曰く

米國は上院が條約(講和)に批准を拒絶せし時迄、世界に對し精神的統率者たるの名譽を荷うて居つた。……此全世界の諸關係

の轉換期に際し、而も大戰の結果が未定なる際に當り、上院が米國を世界の主要國との提携より脱退せしむるの行動を取るとは不可解の事柄である。併し、之れ明かに上院の採りつゝある行動である。斯くて各國は再び舊時の攻守同盟に逆戻りし、斯くて世界には再び陰險なる術策が勢威を揮はんとして居る。又斯くて昔日の間諜は戰前の活躍を再びする便利を得んとして居る。……國際聯盟なくば、秘密條約が再び各國間に締結さるゝとも、吾々は之を無効呼はりする事が出来ない。吾々が大戰參加の目的として標榜したるものは、吾々が此條約に批准し、國際聯盟の會員たるに非ざれば一として得らるゝものではない。我米國は國民の權利を支持し、自由政治を擁護せんが爲に大戰に參與したのである。而して其目的の貫徹を期して戰に臨んだのである。然る

に、今尙ほ其目的は達せられて居ない。吾々は軍閥主義を退治せん爲に、弱國に保障を興へんが爲に、而して正しき永久的の平和を得んが爲に、大戰に参加したのである。吾々は高尚なる熱血を以て参加したのである。而して今や五大國は其條約を承認し、其批准書の交換も近きにあらんとして居る。残れる問題は唯米國が双手を擧げて之に参加するか否かである。吾々にして若し之に参加するを拒絶せば米國と獨逸とは世界に孤立するであらう。世界の永久平和の確保と條約(講和)の有効なる履行は米國が全心を捧げて之に参加するや否やに依りて決せられるのである。全世界に於て議論を戰爭に代へる事を保障せしむる國は米國のみである。而も若し此條約を排し去らんか、吾々は此保障を世界に與ふる事が出来ない。然る時は歐洲の新興國を破壊せんとの企

畫が再び起さるゝに相違ない。余は斯の如き結果を見んとする事が米國民の眞意志とは信じない。故に余は個人としては上院の行動を以て國民の決定と受取る事が出来ない。余は最初より大多數の國民が此條約の批准を希望せるものなる事を切言する所あつた。而して余の此感銘は過般余が十七州に亘りて旅行したる時一層強められた。余は若し上院が國際聯盟の眞意義如何を問ふのであるならば勿論不可でないと辯明して居る。又批准を爲したる後に於て種々の解釋を施すも素より反對すべきでない。併し、條約が提出されある以上、余の唯知らんとする所は果して其が批准されしや、或は否決されしやである。此條約を再締する事は吾々の爲し能はない所である。吾々は此條約の意味に變化を來すが如き改正を試みる事

なく、其を甘諾するか、或は拒絶するか二者一を選ばねばならぬのである。而も之を拒絶せんか、各國が既に批准を終へ居るに拘らず、我國のみ單獨にて獨逸と再び條約を締結すると言ふが如き想像し能はざる事業に面せねばならぬ。併し、單に全國民の意思なり、希望なりとの斷定のみにては素より信を置く事が出来ない。故に、若し此重大問題に對する國民の意嚮に關し疑點があるならば、其を釋然たらしむる明白簡單なる方法は、次期大統領選舉に當り本問題の解決を國民の大投票に訴ふるに在る。故に、次期選舉に當り吾々は本問題に國民大投票の形式を與ふべきである。即ち、此大戦を完了せんが爲に、且又、今回の如き大戦の再發を防がんが爲に米國の受持つべき大役割に關し一般投票に訴ふべきである。吾々は獨逸を屈服せしめんが爲に大戦に参加

する事を辭し能はなかつたが、其以上に吾々は吾々の道德心に訴へて此結末の解決に參與する事を辭する譯に行かないのである。大戦時の友邦否、人類の全將來に對する吾等の誠意は今や問題となつて居る。全世界は米國々民の眞目的及眞態度を知らんと希望して居るに相違ない。

此宣言は素より雷の如き拍手を以て迎へられた。併し、之に對し失望の念を禁じ得なかつた者もあつた。ブライアンは其最なる者であつた。彼は直ちに發言の許可を得、ウイルソンの宣言を駁する所あつたが、其一節に曰く

……吾々は米國市民としても將た又黨員としても此條約批准の遲延に對する責任を分擔するを好まない。吾々は此問題を提げて次期選舉に向ふを好まない。共和黨は上院に多數を占め

て居る。従つて彼等は上院の意思を決定する實權を占めて居る。吾等は少數なる爲上院の承認すべき條件を決定する事が出来な
い。……我邦は十萬の人命を失ひ、二百億弗を費したが、これ
皆世界に於ける民主政治の安泰を期せんが爲であつた。而して
其民主政治の根本義の一は多數が支配すると云ふ事である。

斯の如き狀勢は素より民主黨に取り不利であつた。同時に共和黨
に愈々乘ずるの機會を與へ、従つて彼等の無條件反批准態度を一層頑
強ならしむるものがあつた。此に於て、ヒチコックに依りて指導され
居たる調停運動も頗る猛烈を極むるものがあつたが、ロツヂは留保案
第二及第五の兩條、即ち國際聯盟第一〇條(各締盟國の領土及獨立に對
する相互的保障に關する規定)及第二一條(モンロー主義に關する規定)
に關聯せる留保に就ては一步も讓歩すべき氣色を示さなかつた。此

に於て、止むを得ず二月九日、再考の道を求むる手段として九票に對す
る六三票の多數を以て同案を上院の懇談會に移すことにしたが、其懇
談會の結果、同案は再議に附する目的を以て外交委員會に返還さるゝ
事になつた。然るに、外交委員會は此重大案に對し何等目立ちたる改
訂をも試みず、其翌日を以て更に一箇條を増して十五箇條とし、之を直
ちに本會議に再提出するに至つた。今此十五箇條の留保案を曩日否
決となりたる十四箇條の留保案と對照するに、其異なる主要點といへ
ば左記の通り「七」及「一〇」の兩條の字句を少しく變更し、同時に「一五」條を
新に追加挿入したる事である。

七、米國市民は對獨講和條約に基き組織されたる如何なる會議
にも米國を代表して出席すべからず。但し其任命及權利義務
を決定せる米國の法律に基きて米國を代表する場合は此限り

に非ず

一〇、第八條(講和條約)に基き國際聯盟理事會に依り提議さるべき軍備制限案は、米國々會に於て之を承認せざる限り、米國を拘束せず。而して米國は戰時又は脅威を蒙りたる時何時にても、該理事會の同意を経ずして、軍備を伸張し得る權利を有す

一五、條約批准に同意するに當り米國は自決(民族の)主義及一九一九年六月六日土院が可決したる愛蘭に自立政府を得せしむる決議を固執し、斯かる政府の樹立を見るに至る時は米國は直ちに愛蘭が國際聯盟の會員たる事を承認すべし

此第十五條を追加挿入したるは明かに愛蘭人の歡心を得んとの策略より出たのである。何と云ふ淺ましき仕打であらうか。斯くて、此留保案は又もや十六日より一箇月餘の久しきに亘り討論折衝の種と

なつたが、終に三月十九日最終の表決に附せらるゝに至つた。而して其結果は左の如く成つて現はれた。

留保附批准賛成

共和黨	二八票
民主黨	二一票
計四九票	

留保附批准反對

共和黨	一二票
民主黨	二三票
計三五票	

米國憲法に依れば、條約の批准には出席議員三分二以上の賛成を要する事になり居るを以て、四十九票にては所要數に不足なりし爲、留保附批准案は終に否決を見るに至つた。而して兩黨共賛否の數に斯く紛亂を生じたる主因の一が同案中に愛蘭問題を挿入したるに在りしは疑ふの餘地がない。今試みに兩黨賛否兩者の顔觸を検するに左の如きものがある。

留保附批准賛成者

△ポール△カルダ△カツバ△マルト△カーテス△デリング
 ハム△エツヂ△エルキンス△フレリンヒセン△ヘール△ジョー
 ンス△ケロツグ△ケイヨン△ケイス△レインル△ロツヂ△
 マクリン△マクナリー△ニュー△ページ△フイツプス△スム
 ト△スペンサー△スターリング△スーサランド△ウワードウオ
 ース△ウワール△ウワートン(以上共和黨二八名)
 △アシユースト△ベカーム△フレツチャ△ゴリア△ヘンダ
 ーサン△ケレンドリツク△キング△マイヤー△ヌーゼント△オ
 ーエン△ピトマン△ヘーラン△チャンバレン△ボメーレネー
 △ランスデール△スミス(ジョージア州)△スミス△トラメル△ウ
 ワルーシユ(マサチューセツト)△ウワルーシユ△ウオルカツト(以

上民主黨二一名

留保附批准反對者

△ボラー△ブランデギー△フワール△ナルド△フランクス△グロナ
 △ジョンソン(加州)△ノツクス△ラー●フォルテ△マクオミツク△
 モーゼス△ノリス△シャーマン(以上共和黨一二名)
 △マーマー△クルバース△ダイアル△ゲイ△グラス△ハリス
 △ハリソン△ヒチコツク△ジョンソン(サウス●ダコタ州)△カルビ
 ー△マツケラー△スミス(サウス●カロライナ州)△オバーマン
 △リード△ロビンソン△セツバード△シード△シィモンズ△ス
 タンレー△スワンソン△トーマス△アンダーウード△ウイール
 ム(以上民主黨二三名)

斯くて、批准問題の解決は一頓挫を來した。而して其解決が來らん

とする大統領選挙戦に於て決せらるゝ以外他に途なき事も時日の経過と共に愈々確實となつて來た。更に五月初旬、民主黨豫選大會前にウイルソンが一民主黨員に寄せたる書簡は此點を益々明瞭ならしむるものがあつた。其文に曰く

我黨が國家の名譽及人類の福祉の爲に、米國の爲し能ふ一切の事を高唱する事に關し非妥協的の選手たる事が何より肝要である。従つて我黨はロツヂ留保案を以て米國の名譽と兩立せず又米國が今日迄築き上げ得たる世界の指導者としての地位を自ら破壊するものとし徹頭徹尾ヴェルサイユ條約を支持せねばならぬ。今や我黨は大なる自負心を以て邁進する時である。分別とか云ふ理由の下に一步も譲るべきでない。……國際聯盟は世界萬民の希望である。曩に聯合國は余に許すに、敵國に平和を興ふ

るに際しては、特別の誓約を作り之に依り大小の各國に獨立と領土の安泰を興ふる事が我々の目的たるべきを公言する事を以てした。而して此國際聯盟が其目的の結晶である。

國際聯盟に對し批准が行はれず、又従つて有効に之が實行を期待し能はずとせば、米國が參戦の主要目的は立地に破滅さるゝ事になる。吾等は吾等の名譽に訴へて共和黨の首領連が提議したるが如き留保を容れ以て此聯盟の基礎を薄弱ならしむるの行動を執る事が出來ない。……民主黨は今や誠に至大の機會を有して居る。即ち國家としての米國の名譽は吾等の掌中に在る。

即ち、ウイルソンの決意は牢乎として動かざるものがあつた。彼は單に米國の名譽、威嚴及道德的勢力の失墜を未然に防ぐを要すと云ふ單一なる愛國心よりしても、ロツヂ留保案に敢然宣戦を布告せざるを

得なかつたのである。此間、共和黨をして最も懸念せしめつゝありたるは、ウイルソンが三度び大統領候補者たらざる旨を發表しなかつた事である。實は一月八日の民主黨大會に於て此點に關する何等かの言明あるべしとは民主黨員すら豫期して居つた事であつた。然るに、彼の宣言書には一言の之に及ぶものが無かつた。爾來待てど焦るれど此點に關する言明は更に無かつた。此に於てか問題が起る「何故にウイルソンは此事に關する言明を避けて居つたか」——即ち此れてある。察するに、彼は三度び立候補の熱望を有して居つたに相違ない。彼は此點に關し強き決心を持して居つたに相違ない。……時代は新芽を萌し、米國の對外的立場にも自ら一新紀元を劃さんとして居る。世界は今や分岐點に在る。光明を仰ぐに至るべきか、或は又舊時の暗黒界に復歸すべきか、其分界點に在る。國內の惡魔は光明に向ふ

を厭ひ、國を擧げ、世界を擧げて舊態に戻らしめんと死力を盡して居る。而も此大勢を挽回せしむるは自己の貴き義務である。又自己以外他に此任務に當り得る適任者が見當らない。素より大統領が三期間任に在る事は米國の傳統的慣習に反して居る。併し、時局は重大である、尋常の場合と趣を異にして居る。變局に處するに變例を以てする、これ寧ろ當然であり、又必要である。……此理由の下に、此意味に於て三度び大統領立候補を宣し見んとは彼の胸中に燃えつゝあつた考であつたに相違ない。而も病魔は彼の肉體より未だ去らなかつた。而して彼は終に胸中の鬱勃を空しく抑へ通さざるを得なかつたのである。斯くて時日は矢の如く過ぎ去り、六月十日、共和黨はシカゴに於て大會を開き、大統領候補者としてハーデングを指名し、左の如き宣言書及綱領を可決發表する所あつた。

宣言 (國際聯盟に關する分)

共和黨は世界の平和を支持する目的を以て各國の協定を遂ぐるを賛す。吾人は國際正義の上に斯かる協會を置くべきものと思惟す。又法律の發達及仲裁々判に依り公權支持の方法を講ずべきなりと思ふ。……吾人は斯の如き協會が各國の獨立權を何等傷くる事なくして設け得らるゝものと信ず。大統領が巴里に於て調印したる誓約は此目的に副はざるのみならず、獨立國の易々容認し難き條項が含まれて居る。又將來幾多の葛藤を生じべき虞ある規定が存在して居る。

該誓約は或意味に於て不必要であり、不公平であり、又國祖ワシントン及ゼフワソン、モンロー等に依つて殘され、百年の久しき間米國の遵守し來りたる傳統的外交政策に背馳するものがある。而

して此聯盟は國際法及仲裁々判に依つて平和を求め來りし年來の米國民一般の輿望に反して居る。
不幸にして大統領は上院多數の意嚮に耳を傾けず、條約締結には上院も憲法上大統領と責任を分つべき地位に在るに拘らず、何等の留保を附せず、單に該條約に批准せよと命令するのみである。其結果今日の狀態が齎されたのである。吾人は共和黨所屬上院議員の勇氣を賞し、來らんとする共和黨政府が、文明の爲將た又人道の爲、各國と或種の協約を結ばん事を望めるも、其は米國の理想に適應したるものたる事を要し、又其は世界平和の支持の爲に米國の採るべき判斷及權力の自由使用に何等拘束を加へざるものたる事を要す。

綱領 (國際聯盟に關するもの)

- (一) 現存の世界の平和の維持を目的とせる協約を發達せしめて國際協會を設くべし
- (二) 斯かる協會は公權パブリック・ライツに關する通則を維持するに必要なる方法を講ずべし
- (三) 此は現存の諸法則の發達及公平なる裁判の決定に依り成就さるべきなり
- (四) 前記の一方法として政治的行動に依り平和の攪亂されたる時は何時にても國際會議を開くべし
- (五) 戰爭の可能性を含む一切の問題に關しては米國は自決の權利を留保すべし
- (六) 國際法及仲裁々判主義に傾ける米國民の感情を無視したる而して單に識別と交渉とに基礎を置きたる國際聯盟は全然失

敗なり

- (七) 上院に對する大統領の命令的行動は辯護の餘地なし
- (八) 上院は其名譽ある職責を全うせしなり
- 之に對し、民主黨は六月二十八日大會を桑港に催したが、ウイルソンは病弱の爲臨席不能なりしとは云へ、會場は流石ウイルソン支持の空氣に滿されて居つた。即ち會場にはウイルソンの肖像が掲げられ、コルビー國務卿以下五人の閣僚の指揮役を勤めるがあつた。綱領起草委員長はウイルソンの親友たる上院議員グラス氏之を承り、大會常置委員長の任には是亦ウイルソン最員の、上院議員ロビンソン氏之に當ると云ふ仕組であつた。議長カミング氏の開會辭に曰く
- 國際聯盟の目的は若し或一國が武力を以て他國を侵略せんとせば各文明國が協力して之を制壓するに至るべきを周知せしむる

に在る。斯くてこそ小國は始めて其國家の安泰を期し得らるゝのである。從來の戦争は皆或一國が他國の領土を奪取し或は其政治的獨立を侵さんとの謀計を起せしに胚胎して居る。若し一九一四年獨逸が戰端を開きし當時、其軍事行動の終に英、佛、伊、日、米の強國を向ふに廻すに至るべき事が豫想され居たらんには此回の大戰は起らなかつたのである。

講和條約の反對者は、我等は我等の若者をバルカン問題の解決の爲に海外に派遣せざる可らざるか」と絶叫し居れども、斯の如きは吾人の今回従事したる事を忘却せる者の言である。吾等が二百億弗の軍費を支給し、十萬の人命を失ひたる、之皆根本に於てバルカン問題の解決の爲ではなかつたか。這回の大火はバルカン半島に其端を發したのではないか。而して其大火を鎮壓する爲に

現代文明の全力を要したてはないか。

今日我國民が將來の戦争に巻き込まるゝ事なきやを考慮するが爲に徒らに時日を浪費せるあるは殆んど其眞意を解するに苦まざるを得ない。現に吾等は今回の大戰に巻き込まれたてはないか。吾等が此大戰に参加せし時世界には國際聯盟なるものがなかつた。而も吾等が大速力を以て事實上國際聯盟を作り敵軍に抗するを得しを以て、漸く戰捷を博し得たのではないか。又休戰條件を課し得たのではないか。更に又講和條約を決定し得たのではないか。若し斯の如き結果が非成式なる、而も一時的なる合意の下に成就し得られたとすれば、何故に此協調を今一步確定的に、又拘束的に作り上げる事が出來ないであらうか。又今に於て大戰の此一大果實、即ち國際聯盟を失はざる可らざる理由何處に

存するであらうか。又之を外にして何に依りて國際仲裁の規定を作成する事が期待し得られやうか。又之を外にして何に依つて國際正義を支持する爲の國際裁判所が組織し得られやうか。又之を外にして何に依つて公開的外交の實現が可能となり得られやうか。又之を外にして何に依つて外部よりの侵略行爲に懸念なき事が得られやうか。又之を外にして如何にして過激主義の傳播が有効に防壓し得られやうか。又之を外にして何に依つて諸産業の安全が望まれ、社會萬般に亘る眞個の改造改善の基礎が横へられ得られやうか。

國際聯盟に對して非難の聲を放つ者の言の如き、彼等にして國際聯盟よりも一層可良なる方法を提示せざる限り、人類の良心の會議に於て一瞬時だも謹聽を強ふる權利を有せないのである。

國際聯盟は將來の正義を保障せるのみならず、過去の罪惡に對する救濟手段を有して居る。今日の狀態を以てすれば、或弱國が或強國の壓迫を蒙る時、米國が之に有効なる同情を寄する唯一の方法は戦争に訴ふる事であるが、聯盟が組織されるれば斯かる不便不自由は消滅する譯である。

共和黨の綱領には國際協會と稱する不確實なる各國の協會の組織が唱道されて居るが、一體何れの國と斯かる協會を作らんとするのであるか。現在の國際聯盟を解體して其會員國と共に此協會を作らんとするのであるか、或は又敵國たりし邦國と之を結ばんとするのであるか、其點が不明である。現存して居る國際聯盟を非難しながら他の國際聯盟を組織せんと叫ぶは自らを偽るの行動である。何故米國人は世界の現狀に双眼を閉づるのである

か。國際聯盟は既に存在して居る。其は最早計畫でない事實である。吾人は其れに加盟するか、或は不参加の状態に在らねばならぬ。

此の明晰堂々たる開會の辭の下に愈々大會は開かれ、左記宣言及綱領が可決され、十日間の久しき指名戦を交したる後、終にコックス知事を民主黨大統領候補に指名するに至つた。

宣言 (國際聯盟に關する分)

民主黨は世界の平和を支持し且つ陸海軍備より生ずる無量の負擔を軽減する最確實の方法として國際聯盟に賛す。米國が傳統的の外交政策を放棄して大戰に参加せしは之が爲である。米國大統領が聯合國と協調の下に停戦に同意せしも之を基礎としてである。休戦條約が締結され、講和條約が議定さるゝに至りしも、

特別の誓約の下に「共同の領土保全を目的に各國間の協會を設くべし」と云ふ誓約を基礎として行はれたのである。此故に吾人は大統領が大戦中示したる勇氣を推賞するのみならず、大統領及び其部下一同が巴里に於て國際聯盟の成立に關し盡したる偉大なる功蹟に對して滿腔の謝意を表する者である。吾人は大統領が聯合國と終始歩調を一にし、國際聯盟を支持せる其崇高の信義心及勇氣に敬意を表すると同時に、單に其國際聯盟が民主黨の政治家に依つて作られたるの故を以て之に非難を加へつゝある共和黨を難ぜざるを得ない。

各國の承認せる國際道德の標準を前にして大統領が「此件は米國の名譽に關する問題なり」と確言せるは素より其所である。……

綱 領 (國際聯盟に關するもの)

- (一) 我黨は國際聯盟に賛す
- (二) 米國が參戰したるは國際聯盟を組織せんが爲なりき
- (三) 米國は同理由の下に休戦に同意せり
- (四) 國際聯盟は米國の理想に近く又文明國民の熱望に副へり
- (五) 我黨は列國合意の下に成りたる國際聯盟の支持に對する大統領の勇氣及崇高の理想に敬意を表す
- (六) 我黨は「本問題には國家の名譽が含まる」との大統領の主張を以て正當とす
- (七) 我黨は別個の條約を結ぶを以て國家の名譽を害するものと思惟す
- (八) 我黨は國際聯盟に對する米國の義務を明瞭にする範圍の留

保には反對せざるも、苟も國際聯盟の基礎を害するが如き留保には極力反對す

斯くて、兩黨の戰備は整つて來た。民主黨の主張は堂々たるものであつた。之に反し、共和黨の主唱する所は餘りに現實的であり、餘りに政略的であつた。併しながら、不幸、米國は今や其理想、感情、利害に於て結合されたる一國ではなかつた。其處には愛蘭系米人の反講和條約感情の旺なるがあり、獨、伊兩系米人の強き反ウイルソン感情を抱けるがあつた。又其處には共和黨を背景とせる保護主義、保守主義の金權の勢威を揮ふがあつた。而も其處には之等に對抗するに最も必須なるウイルソン其人の活躍が見られなかつた。又其大雄辯が聞かれなかつた。而して待ち詫びし十一月が來た。大選舉が行はれた。而も其結果は共和黨の大勝利となつて現はれた。ウイルソンの心中如何

ばかりであつたらうか。世は終に救ふ可らざるものであらうか。否、
 ウイルソンが挺身奮力、辛うじて築き上げたる國際聯盟は米國が今尙
 ほ不参加の爲、痛く其精神を喪ひ、其理想を失ひ、其權威を墜さんとして
 居るが、此國際聯盟が何時かは再びウイルソンの理想を理想として權
 威を有するに至るべきは必せりである。ウイルソンたる者幸ひに餘
 生を安靜に過して可なりである。

ウイルソン奮闘史終

附 録

ウイルソン氏著
 片倉藤次郎譯

人が自己に歸る時

人が自己に歸る時

ウイルソン氏著
片倉藤次郎譯

譯者曰ふ、本原著「ホエン・エ・マン・カム・ツ・ヒムセルフ」は一九一二年の作で、聊か古きに失せる嫌あるも、其内容は錦繡の文字に充ち、十分耽讀の價值あるのみならず、ウイルソン氏の思想的教養方面を窺知するに絶對必要と思惟さるゝものあるを以て茲に和譯することにしたのである。内容の性質上、文章は可及的原文を其儘寫す事に努めたる結果、一讀難解の點もあらんが、こは止を得ないのである。

第一

人が自己に歸る時受くる變化たるや極めて保健的に且つ更生的なるものあり。然れども人の自己に歸るは必ずしも放蕩逸樂に耽溺し

たる後たるを要せず。彼は彼のみ知り、而して他人に知れざることの有り得る経験を嘗めたる後、翻然自己に歸り得るなり。自己の勢力、利益、及其他自己中心の紛々たる畫策のみに醒寤たる事なきに至れる時、而して又双眸を拭ひ人生、及人生に於ける自己の眞立脚地並に眞任務を知るに至れる時、即ち彼は自己に歸れるなり。

自己に歸るは即ち迷想より醒むるなり。而して秤皿の忽然落下したるが如く迷夢より醒めたる彼は今や嚴肅に自己を觀察し、自己の有する諸種の力の何たるや、將た又自己の有する其諸種の力の如何なる状態の下に活用さるゝを要するやを知れり。又今や彼は世上の人事に就き、世人より餘りに愛好を受け居りし人事、及餘りに憎惡され居りし人事、並に搖籃期に於ける童話中の人事、及弱冠時代に於ける讀書中の人事に就き、彼の有し居たる一切の先入的印象より離脱し得たるな

り。且つ彼は今自己の歩行力を知覺せり、少くとも之を知覺すべき順路に立てり。更に彼は今人世に於ける自己の立脚地、及自己の試みざる可らざる「出發」の眞意義、即ち何れの道を取りて行進せざる可らざるか、何處に自己の目標の存在せるか、將た又途中如何なる歡迎を受け得べきかを解せるなり。斯くの如きは迷想より醒むる作用なり。而もこは心身共に健全なる人物を失神せしむることなきのみならず、彼を燈光下に伴ひ來るなり。然して其燈光たるや、人に示すに其取るべき進路を以てし、且つ其進路を輝かすに曇りなき太陽より放射されたる赫々たる光線を以てせるなり。

第二

人が自己に歸るに一定の時期なるものなし。従て終生自己に歸る

事なき人あり。自己に歸るは心身共に健全なる人物及時々一定時間俗務と勞役とより全然離脱し、以て人世と其活動の舞臺及脚色との配合を考察し得る人にのみ保留されたる變化なり。世には自己を餘りに重大視し、自己の意見に過重の信念を置き、又は吾人の何故なるやを解し能はざる事柄に就き傲慢横柄を以て他に臨み、又何事に就きても自己の事に關する場合程喜ばざる感謝せざる、又は考慮を拂はざる人物あり。斯かる人物は更生的變化を受けざる人物なり、即ち未だ嘗て自己に立ち歸りたる事なき人物なり。彼等の中或は社會に重きを成せる者あらん。而も彼等の尙ほ上述の如くあるは要するに餘りに多く、餘りに長く俗務に心身を奪はれ居たるが爲なり。即ち彼等は諸種の事務及責任の久しき以前より洪水の如く其身邊に押し寄せ來れるに對し、年又年堅剛なる打手を以て其水波を泳ぎ抜き、兩眼を絶えず其

騷然たる水面上に張り上げつゝ、尙ほ且つ能く陸線を望見することなく、船舶の航行せるを認むることなく、又素より一人の知友をも見出すことなく、唯だ身邊を顧視して其眼底に映ずるは、自己と同運命の下に寄せ來る濁浪と惡闘せる人々の形影あるのみの狀あるなり。人は皆各々同僚の裡に在て演ずべき脚本自體なり。彼は孤立の地位に在らず、又孤立し能はざるなり。彼の生涯は彼の他人に對する諸種の關係に依りて決定さるゝなり。——此諸種の關係に依りて、或は完成され、或は破滅さるゝなり。此諸種の關係に依りて指導され、判斷され、表現さるゝなり。又此諸種の關係以外、彼れの精神の傾注さるべき何等の對象物も存在せざるなり。彼が精神的發育を享くる亦此諸種の關係に依りてなり。更に吾人が彼の品性、目的、及天才の發露を認識するも、是亦此關係に依りてなり。或者は自然の感情を以て、非人工的

直截を以て、何等の飾趣なしに、何等の變調なしに、又其脚色の主人公に就き何等の準備的研究なしに、而して又其脚色の全般を貫通せる精神に關し何等の知覺なしに演了す。之に反し、他の或者は至大の注意を其着せる衣裳に注ぎ終始觀客に氣を取られつゝあり。唯だ少數者のみ、眞面目なる藝術の奧義を極めたる者として其劇の大目的及動機に對し、用意周到なる沒我の念を以て忠實なる下婢の如く振舞ひつゝ風變りの所なく、頑固なる點なく、其心情も、調子も、身振も皆良く其劇の完全なる進行に役ぜざるあり。是等少數者こそ自己を發見したるなり。而して彼等こそ完全なる調和の産み出す凡ての安易を有するなり。調和は人が自己に歸る時得らるゝものなり。或者は晩年に之を得、或者は弱冠にして之を得。又或者は一回に之を得、更に他の者は不知不識の間徐々に之を得。而も疑もなく、多數者は經驗と稱する長き道

程を辿り——生涯の各階梯を踏む毎に少しづつ之を得るなり。大學生は卒業當時、即ち青年時を終へ成人としての生涯に不意に踏み入らんとする時、之に就き最初の震動を感受す。彼は當時迄學友を以て自己の尺度とし、學生間の慣習作法を解し、又一般學生の把持せる理想に依りて刺戟を受け居たりき。然れども今や彼に取り未知の世界は果して彼に何を期待せるぞ。彼が之を感知するに至る時、彼の思想及行為に非常なる革命を來すなり。彼は或新しき未知の要求が眼前自己に向つて横はれるを發見す。組織的なること、徹底的なること、緻密なること、苦役に堪ふること、秩序を重ずること之なり。而して今や何人も皆彼より上役なり。從來彼は一最上級生として模範的精製品たる、而も彼の熟知せし一社會の上層に在りて羽振を利かし居たりき。而も今や不意に彼は見習小僧とはなりたるなり、新入學生當時に於ける

が如く新參者となりしなり。而して何等の規則もなきが如く見ゆる事務を習得せざる可らざるなり。彼は、今、洋上に在て朔風に會し、稍々船暈したるが如き心地を有す。然れども若し彼にして適應性を有せんには、彼は間もなく其業務に習熟し、快趣を感ずるに至らん。此時彼は自己に歸りたるなり。此時彼は才能の何たるや、將た又何を意味するやを解す、又彼の受けたる教育の決して裝飾の爲若くは個人的満足を購入爲のみのものに非ずして、自己を如何に使用すべきかを自らに教へ、且つ、自己の有せる用ふるに足る總ゆる才能を開發するに在りしことを知る。此に於てか、其後に於ける彼の行動には熱火の伴ふあり、而して彼は自己の加ふる打撃又打撃の常に手答あるを愛好するに至るなり。こは大なる奮戰場裡たる大都市に初めて來り、其疲勞するを知らざる體力の使途に就き迷へる田舎出の青年にも同様に起る現象

なり。然してこは又眞實の愛、險惡なる天候に遭遇するも毫も變る事なき愛の爲に結婚せし人にも等しく起る所なり。自己の爲のみに生くる者は未だ生き始めたるに非ず。斯かる人物は自己の用途及眞の愉快を未だ解せざるなり。自己を發見する爲に素より結婚せざる可らざる必要はなきも愛せざる可らざる必要あり。人は沒我的犠牲の念を以て母姉父兄に奉仕し、若くは或目的の爲に自己の安逸、其他「自己」の一切を放棄して邁進する時、自己に歸れるなり。非利己的行動は徐徐に成熟して「献身」なる崇高の習慣を齎し、終に一種の聖化を見るに至る事すらあり。然して此非利己的行動こそ、若し其動機にして「必要」に非ずして「愛」ならんには、そは其人に自得せしむるに人世の廣大なる意義を以てし、且其人を自由職業家的達人の域に達せしむるなり。「必要」は人を單なる苦役者たらしむるのみ、而して單なる苦役は人を自由職

業家的たらしむる事なし。蓋し自由職業は苦役者の有する精神及刺戟より一層旺盛なる精神及一層精緻なる刺戟を要すべければなり。

第三

人は自己に在る最善の或者を發見し、自己の爲し能ふ範圍に於ける最高の功蹟を以て自己を満足せしめたる時、自己に歸りたるなり。而して斯かる時に於てのみ彼は自己の適處如何及自己心中の眞欲求の何たるやを知るなり。他人の爲に非利己的に爲したる事のみ自己に満足を與へ、自己をして「人」を演了したりとの感趣を起さしむるものたる事を認識せる者のみ終生其過ぎ來し方を快感を以て回顧すべき心的餘裕と時とを有するなり。而して此非利己的行動こそ彼に對する眞尺度にして又彼の人間としての價値の標準なり。人は斯くて自己

の○肩○上○に○責○任○即○ち○他○人○の○事○務○に○關○す○る○負○擔○の○加○重○す○る○に○從○つ○て○愈○々○其○大○を○成○し○其○力○は○重○利○的○に○増○大○さ○れ○恰○も○倍○乘○さ○れ○た○る○人○間○の○如○く○な○る○に○至○る○な○り。眼界自己の事以外に到達せざる人物は彼の前に立てば倭人たり、整數に對する分數の如きなり。

思ふに信任されつゝある人々の信用は其信任の愈々加はるに從て倍々高まるの觀あり。人が權力を愛好するは全く之が爲なり。權力は心意の伸帳及種々爽快なる精神的運動を可能ならしめ、人に與ふるに廣汎なる自由を以てす。然れども若し權力者にして其權力を「私」の目的の爲にのみ使用せんか、若し其處に何等非利己的の勞務なからんか、又若し其目的とする所、單に自己の向上のみに在るか、或は又徒らに他人が自己の掌中に在て器具の如くあるを見るを愛玩するに在らんか、彼は小人として不安に満たされ、貧困者として精神に何等の擴充を

見ずして、而して何等「満足」の利殖を受くることなくして此世を去らざる可らざるなり。此の如き人物は自己に何物をも加ふる所なきなり。何人も知る如く、人の精力及び體力は共に使用することに依りて發育す。然れども自己の爲のみの運動ならんには體操場に於ける體動と毫も選ぶ所なく、心身健全なる人物は到底斯の如き運動を以て満足し能はざるなり。彼等は斯の如きを以て單に他日世界の活動場裡——娛樂に非ずして實務の活動場裡、何等規則立ちたる装置品なく各自銘々獨自の方法を案出し以て自己を最大ならしめざる可らざる活動場裡——に於ける飛躍の準備と思惟せんのみ。自らを最大ならしむるとは自己の活動を倍乗するの意なり、而して人若し自己の活動を倍乗せんとならば、須らく自己より離れざる可らず。彼は先づ自己の關係せる或事務若くは事件の表面を研究し、而して其事務及事件の有する

大なる目的に付一定の暗示を捉へ、其暗示に依て指導されざる可らず。斯くて即て彼は彼自身が國家又は社會の動的勢力の一部分たることを發見せん。茲に至りてか、其部分が如何に微小たりとも、將た又世人の視聽を惹くに足らずとも、それは毫も彼に影響する所に非ず。彼の有する諸種の力にして一度外部に活動し始むる時、而して彼が自己の仕事を、それが自己に生計を興ふるの故を以てに非ずして自己の爲に生命を造るものなるの故を以て、好愛するに至る時、彼は自己に歸れるなり。「必要」は「熱心」の母に非ず。「必要」は鞭を携ふ。其遣口は強制なり、愛に非ず。「必要」は人心を惹かんとするの考慮を有せず、單に御するを以て満足す。之に反し、「熱心」は献身的行爲の種々の眞對象物を伴ひ來り、人をして其有する諸種の力を自由に發揮せしむ。即ち「熱心」は一種の啓發なり。又「熱心」は諸種の理想の上に光輝を直射す。然して其光輝を

正視する者に取つては「熱心」を有する人々の狂奔奮戦は皆此諸種の理想に向つて、又此諸種の理想の爲に行はれ居るなり。一例を挙げんに、我國の大慈善家の一人は其生涯の大部分を全然貨殖の爲に没頭して費消せり——彼を知らざる人には斯く見えたり。然れども實際に於て彼が自己の事業を以て生活若くは物質的安逸を得るの手段視したる時代は夙に過ぎ去り居たるなり。事業は彼に取り夙に智的追求の目的物と爲り、起業及利殖の研究資料と爲り居たるなり。商戰場は碁盤として彼の眼前に横り居たるなり。取引の作戦は彼に取り圍碁上の術策の如かりしなり。彼に取り金錢の増殖は勢力の増加——闘碁上大なる利益たる——にして、人間出來事、及市場を自己の目的又は自己の利益の爲に働かしむる様仕向くる手段に外ならざりしなり。許多の船舶を進水せしめしも彼の意志に出でしなり。適當なる時機に

適量の需要品を市場に在らしめしも彼の先見の然らしめし所なり。無思慮なる人物の經營に係る事業をして實績を擧ぐるを得せしめしも彼の助言の賜なり。斯くて彼の機敏は本國に於てのみならず地球の隅々に迄も認識さるゝに至れり。然して富の加はるに従ひ、彼の支配力と熟練とは彌増に加はり、彼の心目も亦從て大なる満足を覺ゆるに至りしなり。斯くの如くありてこそ人は皆各自の爲に小王國——外交に依つて暗黒にさるゝことなき、議會に依つて支配さるゝことなき小王國——を建設し得るなり。

第四

産業界の巨頭連、即ち工業、商業、及び金融界の領袖株が下賤なる富の追求にのみ専念たりと思惟するは誤解なり。彼等は素より富の卑賤

性が屢々逸樂に耽溺せる彼等の妻女及子弟の怠慢と虚榮とに表現さるゝ事實を承認す。然れども吾人は其に就てすら誤解を避くる要ありと同時に不當に非難すべきに非ざるなり。産業界の船長連は往々自己の重責、劇務の爲に家事を見るに充分の心と時との餘裕を有せざることあり。之れ恰も一國の主腦が餘りに國務に忠實過ぐるが爲め却つて嚴格なる家父たり能はざることあると同一なり。實業界の主領連は決して黄金の光輝に魅せられ居るに非ず、彼等は「勢力に對する貪慾」に囚へられ居るなり。彼等は、大仕掛に自己の才能を運用せんことを欲求せるなり。而して現に彼等が世界の命脈の大部分を組織、抑制し且つ監督しつゝあるの事實に鑑みれば、彼等が其自己の事業の爲に身魂を奪はるゝ亦素より其所なりとせざる可らず。ベージハット氏の言へる如く、事業は歡樂よりも面白味あり。故に人にして一度事

業に熱中せんか、彼は終に其より隱退することなし。而して世界は此事象に對し感謝すべき理由あり。

後世、商人中の王、否、恩人中の王として知らるゝに至るべき或一人物譯者曰はく、著者は故ジョーン・ピアポント・モルガン氏を暗示せるならん(の)の總ゆる才能を捕虜とせしも此「事業に對する盲目的熱中」なり。敢て恩人中の王と云ふ蓋し恩惠は感謝を、感謝は賞讃を、而して賞讃は名聲を醸成すべく、斯くて恩惠者の名聲は永く後世に残るべければなり。思ふに、事業、而して事業のみ彼に興味を持たしめ、彼に取り價値あるものたりき。彼は最初慈善の爲に寄附の申込を受けし時之を拒絶せり。何故に之に應ぜざるべからざるか、其の寄附金が社會的能率に幾何の増進を來すべきか、如何なる報償の得らるべきか、又善良なる貨幣が果して燒石に水の如くに無益に費消さるべきものなるか、是等は之れ彼

の疑問たりき。然れども慈善の秩序ある實際的なる而して眞の救済となる方面を了解せる人ありて、彼に投資としての慈善の眞價を説明したる時彼は大いに動かされ、爾來彼は精神的慰安を得んが爲に慈善事業を追求するに至れり。彼は教育に對する投資が無限無窮の増殖——智識、才能、及能率の増加——を來し、且つ社會に一種の刺戟を永久的に間斷なく與へ、以て世界に於ける適才の總量的増加を醸成するのみならず無形無量の而も強力なる精神的利殖を生ずべきを悟れり。茲に於て慈善は遂に事業と同様の趣味を彼に與ふるに至りしなり。

彼は斯くて自己の力に就き充分なる自覺を得て、又自己の心意が「満足」を得る爲に何を要求しつゝあるやに就き眞實にして明瞭なる知覺を得て自己に歸りしなり。彼の總ゆる才能は先づ意識的に正當なる程度に伸張され、終に全幅の發展を遂げしなり。彼は周圍の者より多

大の尊崇を受け、其死するや王者の死に於けるが如く供奉されき。又彼は成功に對してのみならず名譽に對しても強烈なる趣味を有したりしなり。若し彼にして貨殖用の證券類を破棄せざりしならんか、彼は小人として此世を去りたるべく、又彼にして金錢の使途を知らざりしならんには彼は遂に自己に歸ること能はざりしなるべし。然して野心其自身も「名譽」に到達するにより以上の捷徑を彼に指示し能はざりしなるべし。

以上は人が自己の才能を世務に適應せしむることに依り眞の満足を購ひ得る方途の積極的方面なり。別に消極的方面あり。人は自己の力に極限のあることを認識することに依りても、尙ほ自己の偉大なる天才及び手腕を發見することに依りてと等しく自己に歸り得るなり。改革家が政治家に變化するは要するに彼が或る事物の到底自己

の力を以て爲し能はざること又は爲さんと試むべからざることたるを發見するが爲めなり。斯く改革家が自己に歸る現象に對し世界は多大の喜悅を感じざるべからず。或事物の改革が實行的なるや否やは絶對的に、又常に其個々の場合に於ける四圍の状況に依り決定するものにして、實際上の活動又は觀察に依りて自己を其事件の渦中に投ぜる者のみ其状況の何たるかを識り、又其状況の意義如何を知覺し能ふなり。如何なる政治家も自己の欲する通り爲し遂げんと夢想する者なし。彼は知る、道義又は政策の一角が自己に明瞭なるの故を以て其一角が必ずしも全國民に否、自己の知友にすらも明瞭なりと斷定し能はざること。然れども民衆政治の強味は協議に參與すべき、而して協調點に指導さるべき群心衆意の實在せると、如何なる國家問題も先づ全國民の思考、感情及期望に訴へずしては首尾良く解決されざ

る點とに在り。

社會的改革は一個の協調事件なり。而して若し着手せんとする改革が異常の性質のものたらんには多數の有力分子をして其改革行爲に信を措かしめ且つ其を支持せしむるに絶大の努力を拂はざる可らず。蓋し斯かる改革は彼等の同意と支持なしには到底不可能なればなり。

第五

此一大事實は幻想的性急なる改革者が自己に歸る時——若し斯かる心機一轉が彼等を見舞ふことありとせば——翻然發見する所なり。又此種の改革家を立法部又は行政官廳に選出することが彼等を自己に歸らしむるに最も直接的なる有効手段たること往々あり。少くと

も此の方法は急激血氣の人物をして其要求を最小限度のものたらしむるものなり。これ彼等が同僚議員若くは行政官吏の社會改善に就き無頓着なるか又は高尚なる目的に對し無神經なるを發見するに由るに非らず、唯だ犬儒派の人々は其事象を以て吾人の黄金時代に到達することの遅き一原因となせるも、由來犬儒派の徒は眞の消息通に非らざるなり、又これ我民主組織たる權力を均分し政務を分割せるが爲め如何なる人物も自己の意の如く決定し能はざるが故にも非らず。

政治家が學ぶべき有益なる教訓の一は露國皇帝の頭上に課せられつつある無限の制限なり。露國憲法の專制的なるに拘らず、皇帝は社會的慣習、官界の偏見、人種的嫉視、宗教上の傳統的執着、及び行政機關其自身に依り不少束縛を受け居るのみならず、絶えず山積し來り瞬時の餘裕をも得る能はざる底の重大責務の裡に彼れ皇帝唯だ一人嚴坐せる

より生ずる不便あり。彼は唯だ露國々民と共に爲し能ふ事のみ爲し能ふなり。人民を自己の意の如く變化さすが如きは到底彼の爲し能はざる所なり。彼自身露國々民の一員たり、一部分たるなり。唯だ彼は其指導者たるのみ。

英米政治家は他國の政治家よりも幸運なり。彼等の引率せるは思慮ある人民にして、革命黨、貴族及び官僚を上層に戴ける農民の群集より成立せる民族に非ず。彼等は理解力を有する人民に新事物を説明し得、又獨自の而も聰明なる判斷を爲すことに慣れたる、又喜んで爲す人民を説服し能ふなり。更に英國政治家は米國政治家よりも人民を指導するに一層可良なる機會を有す。蓋し英國に於ては行政權も法案提出權も共に同一の大なる委員、即ち時の内閣に委任されればなり。即ち英政府は其必要と認むる法案を議會に提出し得ると同時に

其法案の法律と成れる曉如何に之を厲行すべきかをも自己の手裡に於て裁定し得るなり。然れども英國改革家に取りては公職は、尙ほ米國改革家に取りての如く、其熱烈なる改變慾に對する一個の冷水浴場たるの觀あり。即ち幾多の英國改革家は、議會に入るに及び、從來の侃々たる摘發難詰の聲を收め、冷靜にして溫和なる勸告者となり、大臣となるに至りて眞の保守家となり了したり。ブライト氏は其顯著なる一例なり。氏が在野政治家として諤々の辯論を弄しつゝありし當時保守的人物は氏を以て一革命家に過ぎずとし、其議會に於て與ふる感化力如何に就き至大の憂慮を拂ふ所ありき。若し當時に於て氏が後日英帝國政柄の一部分を掌握すべきを豫知されたらんには保守家連は憲法自體の不安をさへ感じたりしならん。然れ共實際に於て彼等の憂慮は全く杞憂に過ぎざりき。彼れブライト氏は其生涯中に於て

自己の平素呼號せし改革案の殆んど全部の承認され、法律に制定されるを見送ぐるを得たりと雖、其自己の主張の實現さるゝ道程に於ては自己の役割の愈々卓越し來り、其責任の彌々重大を加へ來れるに従ひ、益々調和的となり、諸案の遂行上賢明なる思慮を拂ふ所ありたり。斯くて氏は終に普通の勤王家と毫も異なる所なかりき。

これ斯くの如き人物が自己の平素忌憚なき硬説を主唱せし問題に就き實際其衝に當るに及び勇氣を失ふに至るが爲に非ずして、分別を得るに至るが爲なり。野に在りては彼等は其對象とせる事物を單獨的、大體的に觀察せるも、一旦責任の地位に立つに及び彼等は始て實社界と密觸するに至るなり。即ち各種各階級の人物の彼等の周圍に蟠集し、彼等の腦裡に新しき感銘を投げ付くるあるを以て、彼等が從來改變せんとせし特殊對象物も新環境——より可良なる、より眞實なる背

景裡——に其姿を没し去り、最早特殊的、根本的改變を要せざるもの、
 如く見ゆるに至るなり。彼等の大に干涉する所あらんとせし或人事
 の複雑なる内容の本質——其錯雜精緻なる纖維、而て其纖維の各部の
 狡猾神秘的なる内的相互關係——が彼等の前に遺憾なく展開さるゝ
 に及んては、彼等は修覆する程度よりも破損する程度の多大ならん事
 を畏れ、慎重に歩武を進めざるを得ざるに至るなり。道義的熱心は、其
 自身に於て、若くは何等の指導なしには實際的にして、永久なる改革
 に導くべき適當なる案内者には非ず。而して若し其行はんとする改
 變にして自己に關するのみならず他人に關するものたらんには、改革
 者は先づ自己の意思と其改變し指導せんとせる他人の意思との眞關
 係を識らざる可らず。此關係を發見したる時、彼は自己に歸りたるな
 り、自己の眞個の用途及此世に於て自己に與へられたる天賦の役割を

發見したるなり、自己の總ゆる才能を全然自己の支配下に置き且つ其
 總てを會心の方途に使役せしむるに至りたるなり。若し其眞關係を
 識らざらんには、彼は架空上の樂園裡の人たり終らんのみ、眞實の意味
 に於て自己に歸りたりと言ふを得ざるなり。

第六

サウス博士の言を借りて曰へば、人は絶對的、相對的兩様の才能を有
 す。其天性、天與の役割及機能を有する點に於て、絶對的なり。其人類
 社會の一部を成し、人類社會の一部として、全部に對する點に於て、相對
 的なり。吾人の人が自己に歸りたりと言ふ時、吾人の考慮しつゝある
 は彼の絶對的才能に非ずして、相對的才能なり。蓋し人は自己に歸る時
 自己が全體の一部たることを知り、且つ自己が如何なる職務に就き、如

何なる勳功を建つるに適せるかを知るべければなり。

嘗て世人は好んで政黨を嫌厭し、政黨を以て自然の主權及び個人の完全なる自治の上に挑戰的、不可避的の或制限を課するものと推定せり、而もそは獨斷家の幻夢に過ぎざりき。そは人が自己の有する若干の絶對的才能に就き常に高慢なる自覺を以て傲然濶歩するものと思惟するより生ぜし謬見に過ぎざりき。思ふに實際に於て此組織立てる社會に存在せる幾多の羈絆より全然脱出せんと夢想したる人物は未だあることなし。これ他なし、是等の羈絆たるや眞實の意味に於て毫も羈絆たるに非ずして唯だ人類が其享有し得べき至高至樂の或ものを獲得するに缺くべからざる拍車たり幫助具たるに過ぎざればなり。

政治を念とせる人士の生命たる政治的結社は永久的自然の結合な

り。其は單なる便利物に非ず、單なる必須物に非ず、單なる任意團體に非ず、單なる法人にも非ず、又特殊の目的の爲に企圖されたる人爲的工作物にも非ず、唯だ個人の生命よりも一層高尚なる一種の生命の永久的、自然的の發露たり、合成體たるに外ならざるなり。而して其生命たるや相互的援助者たり、刺戟者たり、競争者たるの共同生命にして、個人の生命に機會と出發點とを與へ以て其生を可能ならしめ、擴充せしめ、完全ならしむるものなり。

斯かる舞臺に在りてこそ、人は容易に自己の立脚地及力を發見し得るなれ。利害、希望、愛着の紐に依りて結合されたる——唯だ官權、感情、異見及び何人も考定し能はざる幻想及慾望のみに依りて離反され得べき——而して無限に錯雜相關聯せる各種の人物の中に在りて各人は其會員と伍して自己の居處を熱心に獵り且つ其會の一員として終

始せんことを欲するなり。彼れ若し賢明に活眼を以て自己の居處を求めんか、彼は精神的安易以上及豫期以上の或ものを求め得べし。即ち彼は此時自己を發見せるなり、恰も自己の周圍を蔽ひ居りし濃霧の急に消散せるに會し、不意に自己の隣人——各種の事業と人物の中に坐せる隣人——を認識するに至りしが如く。

人の追求して止まざるものは「満足」なり。而も人は「満足」が自己耽溺に存在せるものと想像せる期間、而して自己を以て其努力の目的物又は中心と思惟せる期間、自己を欺きつゝあるなり。斯かる期間、彼れの心意は無益に費消され居るなり。心意の欲求は活動其自身又は「快樂」に依りて満足さるゝものに非ずして、正義に關する自覺及び偉大に、高尚に使用されたる自己の力に關する自覺に依りて満足さるゝなり。即ち慾望の本體は慾望を満足せしむる動機の裡に、端正真直の威力と

快味の裡に發見し得らるゝなり。基督教は世界を解放せり、而もそは教義の然らしめし所に非ず、愛他主義の哲理の然らしめし所にも非ず、唯だ眞純にして非利己的なる愛の力の天啓に因りてなり。基督教の至要の本質は吾人之を其教義に見出すを得ず、其動機に見出し得るなり。愛——明確にして忠實なる而も人的なる愛、之れ即ち其生命にして不朽のものたり。基督は自己を救はん爲に臨世せしに非ず、世を救はんとしてなり。彼の動機及彼の試みたる實例は人類各自の享有し得べき賜及幸福に對する鍵錠なり。素より彼の垂教の其處此處に他宗の教義及哲學より挑戦さるべき點の存するは疑ふべくも非ず。而も基督教の動機、即ち愛なくしては人は假令至純の愛他主義者たり得んも、畢に不満不幸なること猶ほマールカス・オーレラスの如からんのみ。

基督教は無窮に亘りて吾人に與ふるに正しき生活の完全なる象徴及

び社會的、個人的福祉の奧秘を以てせり、蓋し此兩者は分離すべからざるものなればなり。而して日常の生活に於て此奧秘の眞なるを經驗せる人々は人世に貢獻し得る至善の方法を發見したるのみならず、自己を満足せしむる唯一最良の方法を發見したるなり、即ち彼は自己に歸りたるなり。斯くて彼は彼の力の何たるやを識り、又其力の呼吸せる靈的空氣の何たるやを知覺し、同時に如何なる熱心を以て事に當らば能く其力をして倦怠の感なからしめ得べきか、將た又其力を最も良く使用し得べきかを識るに至れるなり。然して幾星霜の奮戦後、貴き經驗は彼を一層強固にし、彼を一層適者たらしむべく、斯くて頽齡は彼に齎らすに老衰、飽滿、後悔を以てせずして、一層高尚なる希望及靜穩なる老熟を以てすべし。

— 附錄終 —

大正十年八月二十九日印刷
大正十年九月一日發行

ウイルソン實業史叢書
定價貳圓五拾錢

著者

片倉藤次郎

發行者

半澤玉城

印刷者

有吉黃楊

印刷所

万月堂印刷所

不許
複製

發行所

東京市麹町區下二番町六八

外交時報社

振替東京五一八六八番

外交時報

東洋第一の外交國際專誌

外交重大！國難來る！讀め！外交時報を！
 本誌は創刊以來二十有五年四百餘號を重ね
 外交専門雜誌として權威本誌に駢ぶ者無し
 是れ毎號専門學者當路大家の論策を満載し
 資料豊富研究精明考證該博立論正鵠にして
 世界の趨勢を明にし國論を指導するが故也
 讀め！外交時報！現代紳士の第一の資格は
 外交問題に通曉し國家の時務を理解する在り

定價
 外交時報は毎月二回（一日、十五日）發行す。定價一
 冊四錢郵税一錢の割合也。本社直接申込は左の割
 合にて下記振替貯金口座に對し前金拂込まれたし。
 一年廿四冊分九圓卅錢、半年十二冊分四圓七十錢

東京市麹町區下二番町八六

外交時報社

振替東京一八六八番

電話九段二八五番

終